

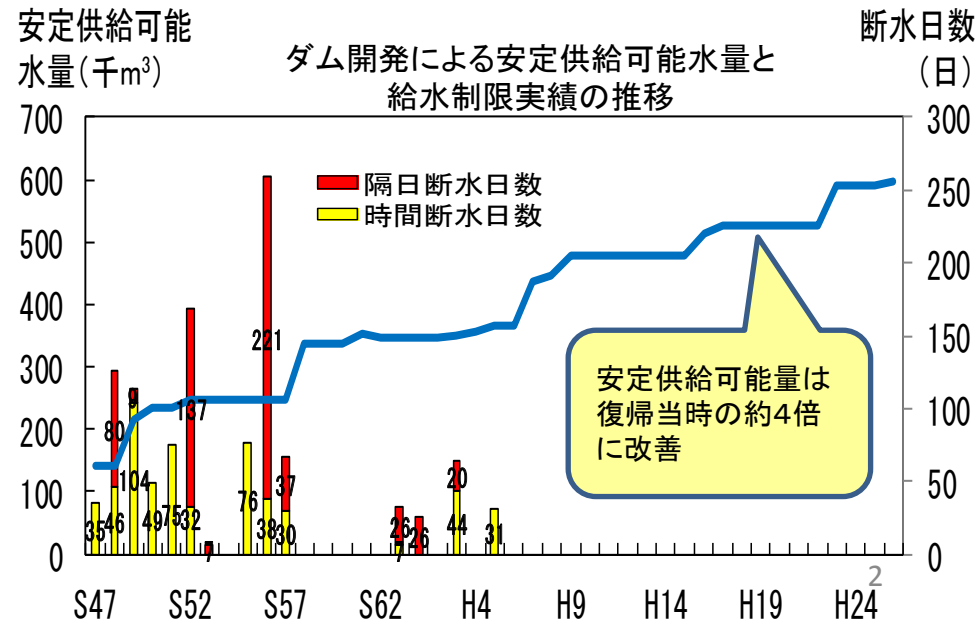
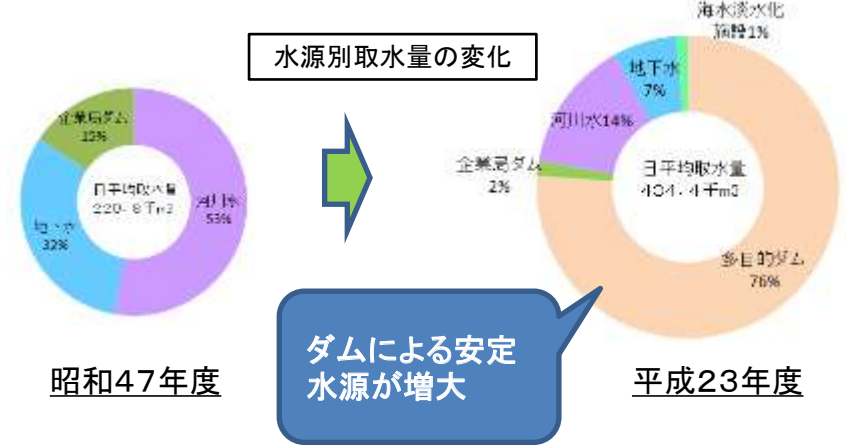
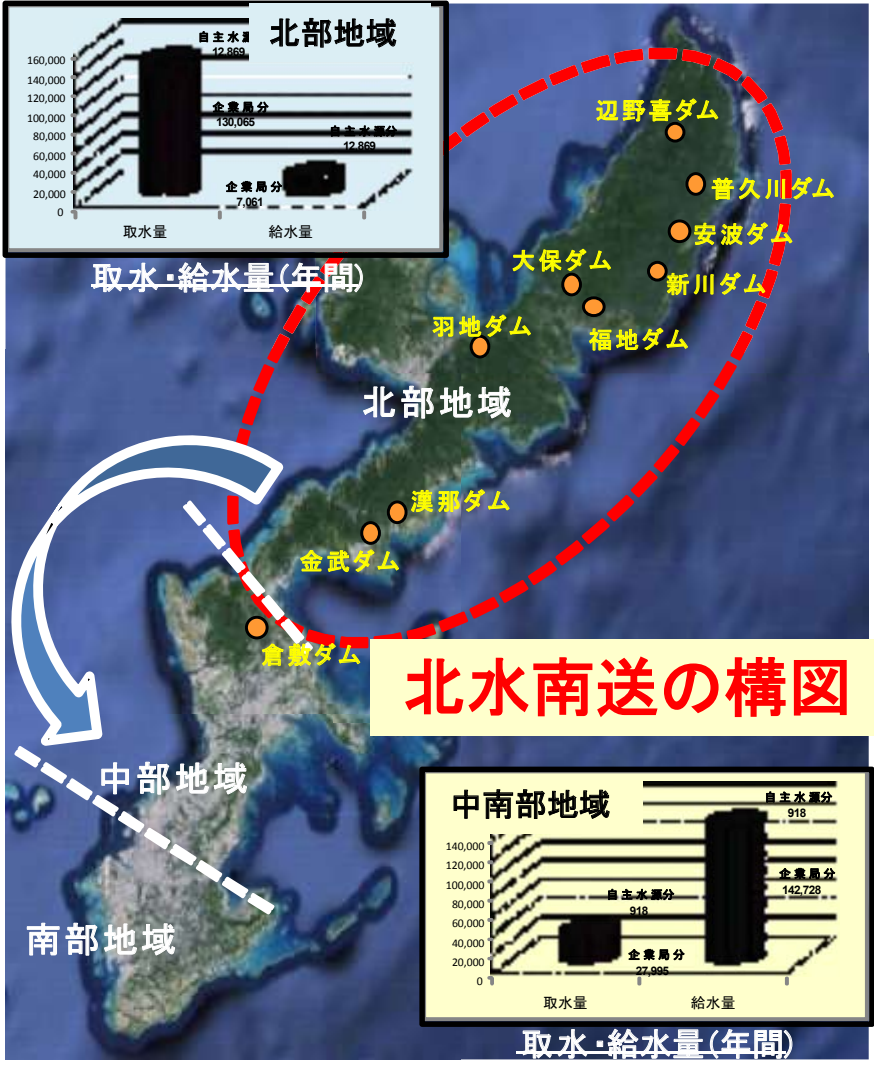
沖縄北部ダムツアーリズム の取り組み状況について

北部ダム統合管理事務所

安次嶺 正春

沖縄本島における多目的ダムの建設と水資源

- ・昭和47年の本土復帰後、国による多目的ダムの整備により、沖縄本島の水資源が安定。
- ・20年以上給水制限が無く、県民生活の利便性の向上、産業の発展に寄与。
- ・水資源の約8割が北部地域から取水され、中南部で消費される「北水南送」の構図。



沖縄北部ダム湖サミット開催

○平成26年2月22日沖縄北部ダム湖サミットを開催。

○水源地“やんばる”の自然やダム湖の魅力を活かした活動を通じて、森や水の大切さを広く認識してもらうこと、北部地域の連携のみならず中南部との交流・連携を促進するとして、サミット宣言が出された。



沖縄北部ダム湖サミット宣言

私たちは、沖縄北部ダム湖サミットにおいて、やんばるの自然と水の大切さを念頭に、以下のとおり理念や方針を共有し、具体的な行動の第一歩とする。

- やんばるの貴重な自然は沖縄の宝であり、本島における貴重な水源地でもあることから、県民全体で森を守り、水を守ることが重要。
- 水源地やんばるの自然やダム湖の魅力を活かした活動を通じて、森や水の大切さを広く認識してもらえるように努力。
- ダムの存在する北部地域の連携のみならず、中南部地域との交流・連携を促進。

平成26年2月22日
沖縄北部ダム湖サミット参加者一同

沖縄北部ダムツーリズムとは

ダムやダム湖、流域における観光、エコツーリズムなどの水源地域の魅力ある活動を『沖縄北部ダムツーリズム』として捉え、関係者間の連携を支援するとともに広く発信し、活動の積極的な展開を図るものです。

(目的)

水源地やんばるの自然やダム湖の魅力を活かした活動を通じて、森や水の大切さを広く認識してもらい、森や水を守ると共に、北部水源地の活性化を支援します。



やんばるの森とダム湖の絶妙なハーモニーを感じることができます。

通常では行くことのできないダム堤体内部を見ることができます。

貯水池周りでは、季節により異なる花や野鳥を観察でき、ウォーキングに最適です。

森に囲まれたダム湖でのカヌー体験は心地よいこと間違いなし。心身がリフレッシュできます。

ダム資料館や川、創出された湿地、樹林復元等は環境学習の場に最適です。

ダムにおける観光、学習、環境保全活動

構造物

【堤体見学、導水路見学等】

道路

【マラソン、ウォーキング等】

湖

【観光船、ボート、カヌー、景色等】

河川・湿地

【カヌー、水遊び、環境保全、生物観察等】

森林

【環境学習、生物観察等】

公園・広場

【スポーツ、キャンプ、祭り、遊び等】

資料館

【学習、交流】

イベント

【祭り、八景、情報誌、ダムカード等】

沖縄北部ダムツーリズムの魅力

- ① 通常では行くことのできないダムの内部を見ることができます。(漢那ダム)
 - ② 通常では見ることのできない幻の滝などを見ることができます(水位条件の制約あり)。(安波ダムなど)
 - ③ 下から見上げるダム堤体は迫力大です。(安波ダム、福地ダム)
 - ④ ダム資料館は、沖縄の水資源など社会学習に最適な教材です。(羽地ダム資料館、福地ダム資料館など)
 - ⑤ ダムにおけるビオトープ等環境保全対策施設等は、環境学習や自然観察に適しています。(漢那ダム)
 - ⑥ やんばるの森で囲まれたダム湖等で心身をリフレッシュできます。(福地ダムなど)
 - ⑦ カワセミや淡水クラゲなどめったに目に見ることができない生き物を見ることができます。(大保ダムなど)
 - ⑧ ダムの専門家である北部ダム統合管理事務所の職員が案内いたします。(漢那ダムなど)
- ※ ①、⑧は事前に調整した団体客のみに限定しています。②、⑥、⑦は地元団体が実施するツアーがあります。



ダム内部(監査廊)の見学状況(漢那ダム)



ダム資料館のジオラマ(羽地ダム)



カワセミ



やんばるの森がや湖上流の幻想的景観



野鳥観察小屋(漢那ダム)



幻の滝(安波ダム)



漢那ダムで創出した湿地環境での学習会



ダム湖でのカヌー体験ツアー

沖縄北部ダムツーリズムと地域におけるメニュー

○ ダムは、ダム施設見学、水資源や環境の学習、小学生の社会見学、地域のNPO等が実施する野外活動と組み合わせたツアー等、目的に応じて様々な使い方が可能です。

ダム名	主要テーマ	沖縄北部ダムツーリズム		地域圏域の主なメニュー
		ダム管理施設メニュー	NPO等が実施するメニュー	
漢那	ダム施設 見学 環境学習	①ダム堤体の見学(景観設計) ②ダム内部の見学 ③本ダム右岸の魚道見学 ④本ダム下流のマングローブ生態系 ⑤貯水池上流に隣接する第二貯水池 (自然観察広場)		<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅ぎのぞ ・かなパークゴルフ ・宜野座村立博物館 ・松田鍾乳洞 ・宜野座村の体験ダイビング
羽地	小学生の 社会見学	⑥ダム資料館 (沖縄の水資源他(小学生向け)) ⑦川遊び&川の生き物観察		<ul style="list-style-type: none"> ・羽地民泊 ・名護城トレッキング
福地	野外活動 と学習	⑧ダム資料館 (沖縄の水資源(大人向け))	⑪ダム湖での自然観察船(ゴンミキ号) の運航 (東村ふるさと振興株式会社が運航) ⑫ダム湖でのカヌー体験 (東村ふるさと振興株式会社が実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・山と水の生活博物館 ・村民の森つつじエコパーク ・沖縄やんばる海水揚水発電所 ・慶佐次湾のヒルギ林マングローブツ アー&遊歩道散策 ・半日・一日農業体験 ・東村シュノーケルツアー
大保		⑨ダム資料館(環境保全対策)	⑬ぶながや湖カヌー体験&大保川清流 トレッキング ⑭森と水辺のノルディックウオーキング ⑮森と水辺のサイクリング (以上、おおぎみまるとツーリズム協 会が実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・ター滝トレッキング ・道の駅大宜味
金武		⑩ダム資料館(億首ダム事業)		<ul style="list-style-type: none"> ・ネイチャーみらい館 ・億首川マングローブカヌー体験
安波	野外活動		⑯亜熱帯ジャングルカヌーと川遊び (国頭ツーリズム協会が実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・やんばる学びの森(ツアープログラ ム、学びのゾーン、遊びのゾーン) ・比地大滝トレッキング

ダムの施設整備

○誘客に繋がる植樹



新川ダムのサガリバナ植林



リュウキュウアサギマダラ(蝶)の食草

安波ダムのツルモウリンカの植林

○ダム資料館の改善



WSの様子



クイズ形式で子どもでも楽しくダムを学習



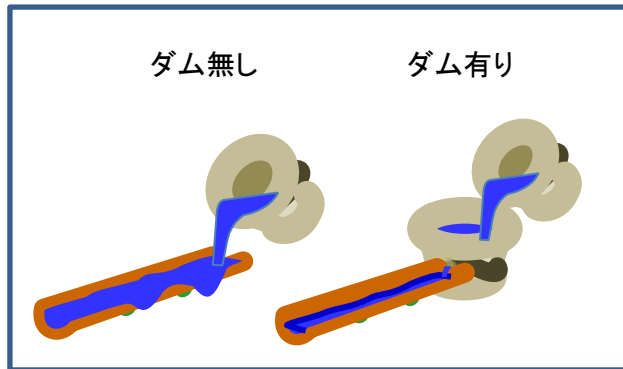
改善後の施設案内で反応を確認

ワークショップを開催
⇒ 一般の方にわかりやすい説明
や興味に応える工夫

説明の創意工夫

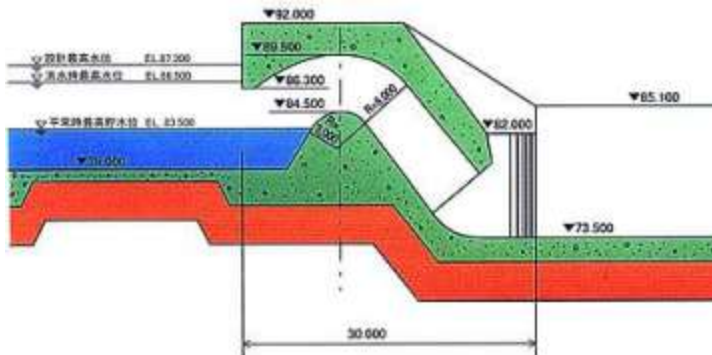
- ・ダム役割や仕組みについて、簡易な実験装置を用いて説明。
- ・道具は職員の創意工夫による手づくり

○ダムの洪水調節



ペットボトルを用いた簡易な実験。実際に見える形で効果が確認できる。

○福地ダム上流洪水吐き(サイフォン)



旅行業界への売り込み

①ダム現場視察

平成26年10月、日本旅行業協会(JATA)沖縄支部メンバーに漢那ダム、安波ダム、羽地ダムと水源地域の施設「やんばる学びの森」(国頭村)を紹介。



漢那ダム 監査廊内部



安波ダム シゲンランファーの滝



やんばる学びの森(国頭村)



羽地ダム 資料館

②意見交換会

現場視察に引き続き、水源地域関係者も含めて、JATAメンバーと意見交換を実施

ダムが有する観光資源としての有用性が確認されたほか、誘客に繋げるための課題などの意見をもらった。



意見交換会

日帰りバスツアーの実施

- JATA加盟の旅行会社2社から、漢那ダムの施設見学を取り入れた、4つの企画で日帰りバスツアーが発売された。
- 今年1月から7月までに、計16回(平均2~3回/月)開催。
- バスツアー参加者は、中高年層を中心に440名を超える。

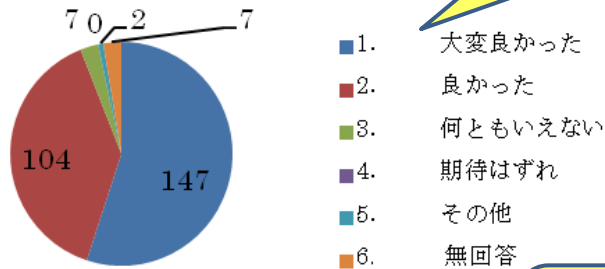
**ツアーコースには、
水源地域の観光施設、イチゴ
狩り、飲食店の利用が含まれる。
ダム見学と併せて、近隣の「道
の駅」の利用を促すなど、水源
地域の活性化にも繋がっている。**



漢那ダムバスツアーの評価

漢那ダムのバスツアー参加者へのアンケート結果(暫定値)

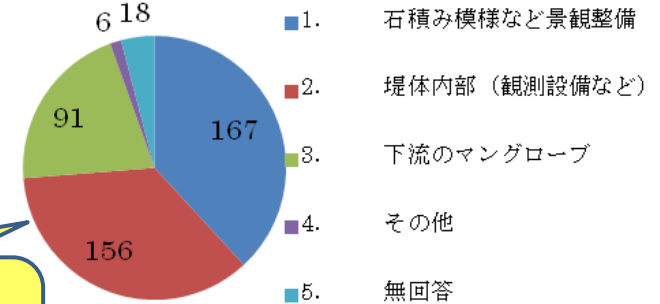
問 ダム施設見学を体験されてどう思いましたか



「大変良かった」と「良かった」との回答が**94%**

N=267

問 ダム施設見学で良かったメニューは何ですか



「石積み模様の景観」と「堤体内部(観測設備)」が人気

直接会話することで、公共事業への理解・啓発にも効果あり。

自由意見

- ☆ダムは自然を壊すものと思っていたが、今日の見学で少し考えが変わった。
- ☆実際に携わっておられる職員方々の生きた説明はぐんぐん自身の知識となって今後とも是非続けていただきたいと思います。
- ☆普段中に入って見学する事ができないダムの施設の中を見ることができて良かった。など

ダムツーリズムの実証

【大保ダム】



ダムまつりでのモニタリングツアー、ダム体験学習会、学校のフィールド実習などを通して、ダムツーリズムを紹介。

堤体見学
(下から見上げると迫力満点)

湖面遊覧
(幻想的な立ち枯れの樹木)

【羽地ダム】



【福地ダム】

湖面及び上流河川
(リュウキュウアユ観察ツアー)



名桜大学講義
(エコツーリズムの実体験)



親子体験学習会
(下流河川の生き物観察)



資料館見学
(ダムまつり探検ツアー)



資料館見学
(リュウキュウアユ観察ツアー)

○職員向け養成講座の開催

- ・ガイドのテキストを作成
- ・漢那ダムをモデルに説明のポイント(景観整備、環境保全、観測業務など)を習得してもらう



現在、実践を通しながら、ガイド技能をブラッシュアップ。

○地元ガイドとの連携

- ・地元の観光推進協議会での取り組みを打診
→ 地域ガイドメニューとして取り入れていく方向が見出された



○情報発信

- ・近年の情報ツールとして、スマートフォンが主流になりつつあり、従来のPC版ホームページでは情報発信力が弱い。

⇒ **スマートフォン対応やSNSなど、時代に応じたツールの活用**

○受け入れ体制の整備

- ・旅行業界から、北部全体の総合案内窓口が必要との指摘がある。
- ・オートキャンプ場の整備など、利用拡大に向けた施設整備が求められる。

⇒ **地元自治体等関係者との連携**

☆誘客に繋がるダム管理施設の整備
(資料館改善、植栽、安全対策施設等)

☆スマートフォン対応を含めた、ホームページのリニューアルなど、情報発信の拡充を図る。

☆関係者との連携強化

- ・水源地関係者
- ・旅行業界



「沖縄北部ダムツーリズム」を通して、森や水の大切さを
広く認識してもらい、北部地域及び中南部地域との交
流・連携を促進する。

おわりに

沖縄県民の生活及び産業を支える水資源の供給に対し、**水源地域の理解と協力に感謝申し上げます。**

ご静聴ありがとうございました